

「星」を探して楽しもう！

「サッポロ生ビール黒ラベル」“STAR READER” 第2弾

「#それぞれの4月1日」公開決定

入江陵介さん、中村憲剛さんにとっての4月1日とは？
“一歩大人に近づく日”に発売44周年を迎える黒ラベルが贈る特別企画



サッポロビール（株）は、「サッポロ生ビール黒ラベル」のスペシャルコンテンツ「STAR READER」（注1）の第2弾として「#それぞれの4月1日」企画を2021年3月23日より公開します。

この企画は、新生活や新年度が始まる誰もが“一歩大人に近づく日”であり、黒ラベルの誕生日でもある「4月1日」というタイミングにフォーカスしたもので、競泳選手の入江陵介さん、元プロサッカー選手の中村憲剛さんに「4月1日」にまつわるエピソードを語ってもらったインタビュー企画です。特設サイト上ではお二人のリアルな姿を描いたWEBCMが公開され、さらに黒ラベルの缶やグラスにデザインされている「星」のロゴを「STAR READER」のサイトのブラウザカメラで読み込むと、お二人のインタビュー動画が視聴できます。

同じことに挑み続けさらなる高みを目指す入江さん、新たなフィールドでの一歩を踏み出す中村さん。それぞれの立場で迎える「4月1日」は、全く異なった側面から語られていながら、その根底では「挑戦」という共通のキーワードが見えてきます。

この公開に合わせて、Twitterでは「#それぞれの4月1日」のハッシュタグで特定の投稿を拡散すると入江さん、中村さんからのスペシャル動画が見られる企画を、また全国主要駅を中心に各地区で駅構内広告を展開します。（注2）



#それぞれの4月1日

4月1日は、常に緊張をしている。代表選考に向けての機嫌など。落ちついた4月1日を過ごせたことがない。休日の静けさや考えた時もあった。でも、休むこと以上に楽しいことが見つからなかった。だから、今日からまた僕は泳ぎ続ける。きっと、僕にとっての4月1日は、自分と向き合う日なんだと思う。それぞれの4月1日に、乾杯。

入江 陵介

大人の生ビール 黒ラベル



#それぞれの4月1日

選手時代の4月1日。シーズンの何気ない目標の一部だった。日々、今日よりも明日の方が上手くいかない目標をもって、2011年の4月1日。僕は新しいフィールドに立っている。怖さもある。それ以上に楽しみがある。エリート階段を登ってこなかった自分だからわかる。自分が求めている祭り。成長はずっとできると。きっと、僕にとっての4月1日は、新しい扉を開く日と思う。それぞれの4月1日に、乾杯。

中村 憲剛

大人の生ビール 黒ラベル

この企画を通じて、多くの方々に「大人」について今一度考えるきっかけを生むとともに、若者に限らず幅広いお客様に共感していただけることを期待しています。



「サッポロ生ビール黒ラベル」は、これからもさまざまなお客様接点において「大人の★生」を訴求することで、ブランドのさらなる活性化を図っていきます。是非、今後ともご期待ください。

(注1) https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000012350/

(注2) 広告が展開される駅、駅員の方へのお問い合わせはご遠慮ください。

【STAR READER 第2弾「#それぞれの4月1日」コンテンツ概要】

- ①実施期間 2021年3月23日0:00～2021年4月22日23:59
- ②手順
 - ・「STAR READER」特設サイトから専用のブラウザカメラを起動
 - ・「サッポロ生ビール黒ラベル」缶などの「星」ロゴをスキャン
- ③内容 著名人が「4月1日」をテーマに語ったスペシャルインタビュー動画が視聴できます。
- ④出演者
 - ・入江陵介さん（競泳選手）
 - ・中村憲剛さん（元プロサッカー選手）
- ⑤URL <https://starreader.c-kurolabel.jp/sorezore0401/>

〈参考〉出演者プロフィール

・入江陵介

1990年、大阪府出身。イトマン東進所属。

0歳から水泳を始め、小学校からイトマンスイミングスクールに通う。中学の時に種目を背泳ぎ一本に絞る。高校1年の時、高校総体200m背泳ぎで高校新記録を樹立し優勝。

近畿大学進学後、2008年北京オリンピックに出場。2012年日本選手権にて男子100m・200m背泳ぎで優勝。

同年のロンドンオリンピックでは100m・200m背泳ぎ400メートルメドレーリレーで3個のメダルを獲得。

2016年日本選手権200m背泳ぎにおいて史上初の10連覇を達成した。

北京、ロンドン、リオと3大会連続でオリンピック出場を果たし、今年4度目のオリンピック出場を目指している。数多くの国内外選手権に出場し、度々記録を打ち立てている日本水泳界をリードする存在で、今後も活躍が期待されている。

・中村憲剛

1980年、東京都出身。

小学1年生でサッカーを始め、中央大学を経て、2003年に川崎フロンターレに入団。

2006年に日本代表に初選出。2010年南アフリカワールドカップメンバーに選出され出場、国際Aマッチ68試合出場6得点。

2016年Jリーグ年間最優秀選手賞（MVP）を獲得、ギネス世界記録認定。2017年悲願のJリーグ初優勝に始まり、2018年・2020年と3度のJリーグ優勝。さらに2019年のJリーグYBCルヴァンカップ優勝、2020年の

天皇杯優勝と、チームとともにその歴史に名を刻んだ。
川崎一筋で18年間プレーし「川崎のバンディエラ」の尊称で親しまれ、2020シーズンをもって現役を引退した。引退後は、選手育成や解説業などを行うとともにサッカー界に貢献している。

以上